

第4号様式

令和8年3月10日

神奈川県薬剤師会 会長 殿

申請者 住所 神奈川県相模原市中央区富士見6丁目1番1号
団体名 公益社団法人相模原市薬剤師会
代表者名 会長 大岡 元



令和7年度公益目的事業実績報告書

令和7年5月14日付で交付決定を受けた公益目的事業補助金に係る補助事業の実績を、「地域薬剤師会・職域薬剤師会 公益目的事業補助金交付要綱」により、関係書類を添えて報告します。

添付書類

- 1 事業結果報告書
- 2 収支決算書または収支を証する書類

令和7年度 公益目的事業補助金 事業活動報告

実施時期 (R7.4～R8.3)

1 公衆衛生に関する事業

(1) 広報及び災害時対策に関する事業

① 広報事業：

1. 相模原市医師会広報誌「健康さがみはら」1月号に、「意外に知られていない？薬の正しい使い方～目薬について～」を寄稿し、市民に正しい医療知識の普及と予防に対する意識の向上を図った。
2. ホームページに、市民向けに、医薬品等に関わる情報の提供を行った。

② 災害時対策事業：

1. 災害時マニュアルの改訂を行い、会員に配布した。また、市内救護所担当薬剤師の見直しを行った。

【救護訓練等】

期 日	訓練名	場 所	参加者数
8月31日(日)	相模原市総合防災訓練	相模原総合補給廠一部返還地	10名
10月19日(日)	相模原市災害時医療救護訓練	相模原市立共和小学校	4名

【研修会等】

期 日	内 容	場 所	参加者数
10月5日(日)	災害医療コーディネート研修	相模原市総合保健医療センター7階視聴覚室	3名

③ その他この事業に必要な諸会議及び業務

【災害時対策委員会】9月26日(金)

【相模原市災害時医療救護検討会】8月19日(火)

(2) 薬学生の育成に関する事業

① 薬学生受入対策事業：

1. 薬学生の11週間にわたる薬局実習を当会の社員が所属する薬局と連携を取りながら、体験実習を支援し、薬局で賄いきれない実習については、集合研修等を行い、3期6日間に亘り64名が参加し、円滑に行った。

【集合研修の開催】

期 間	講 座 名	場 所	受入人数
4月6日(日)	薬剤師法、夜間休日対応、災害時対応、適正使用・リスクマネジメント、薬局製剤・漢方製剤	相模原市総合保健医療センター5階医師会会議室及び6階学校保健検査室	16名

7月21日(月)	薬剤師法、夜間休日対応、災害時対応、適正使用・リスクマネジメント、薬局製剤・漢方製剤	相模原市総合保健医療センター5階 医師会会議室及び6階学校保健検査室	17名
9月23日(火)	薬剤師法、夜間休日対応、災害時対応、適正使用・リスクマネジメント、薬局製剤・漢方製剤	相模原市総合保健医療センター5階 医師会会議室及び6階学校保健検査室	12名
10月11日(土)	実務実習集合研修 D (健活!さがみはら健康フェスタ 2025 キッズ調剤体験)	相模原市総合保健医療センター	11名
10月13日(月)	実務実習集合研修 E (相模原スポーツフェスティバル)	相模原ギオンスタジアム	3名
10月19日(日)	実務実習集合研修 B (相模原市災害時医療救護訓練)	相模原市立共和小学校	5名

② その他この事業に必要な諸会議及び業務

1. 会議等

- 【北里大学薬学部 OSCE 評価者直前講習会】11月29日(土)、11月30日(日)
【北里大学薬学部 2025年度 OSCE 本試験】12月7日(日)

2 地域社会の健全な発展を目的とする事業

(1) 地域住民に対する啓発・相談事業

- ① 相談事業：市民を対象に月1回、薬の相談事業を次の通り行った。

期 日	場 所	相談者数
4月17日(木)	相模原市総合保健医療センター6F 相模原市薬剤師会会議室	4名
5月15日(木)	〃	0名
6月19日(木)	〃	1名
7月17日(木)	〃	0名
8月21日(木)	〃	0名
9月18日(木)	〃	1名
10月16日(木)	〃	2名
11月20日(木)	〃	2名
12月18日(木)	〃	1名
1月15日(木)	〃	0名
2月19日(木)	〃	2名
3月19日(木)	〃	0名

② 薬物乱用防止啓発活動事業：

1. 市内において、保健所及び神奈川県薬物乱用防止指導員協議会と協働で市内駅前等にて行う啓発活動及び市内のお祭り等において、市民向けの啓発活動を次の通り行った。

【街頭啓発活動等】

雨天により中止

【薬物乱用防止啓発活動等】

期 日	名 称	場 所	参加者数
10月11日(土)	健活！さがみはら健康フェスタ 2025	相模原市総合保健医療センター	8名
10月13日(月)	アンチ・ドーピング啓発活動	相模原ギオンスタジアム (スポーツフェスティバル)	11名
11月15日(土)	薬物乱用防止啓発活動	相模原市青少年学習センター(さがみはら大学生等未来応援事業)	2名
3月1日(日)	アンチ・ドーピング啓発活動	相模原ギオンスタジアム (SC 相模原ホームゲーム会場でのブース出展)	500名

2. 学校薬剤師が市内中学校においてくすりの適正使用教育を適切に行うことができるよう、研修を次の通り行った。

期 日	名 称	場 所	対象者数
3月19日(木)	学校薬剤師研修会 ・参加型授業の必要性 ～自分の心と向き合うための きっかけづくり～ ・初めてでもできる薬物乱用防止 啓発教室 薬物乱用防止啓発 教室のヒント ・給食検査におけるサーミスタの 使用方法	相模原市総合保健医療センター7階視聴覚室	76名

3. スポーツファーマシストの育成及び競技者を含めたスポーツ愛好家などに対し、薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などの普及・啓発のための研修会、講演会を次の通り行った。

期 日	名 称	場 所	対象者数
2月20日(金)	アンチ・ドーピング研修会 ・禁止表国際基準の変更点 ・「アンチ・ドーピング活動を通じて地域とつながる」	ZOOMによるWEB研修会	61名

4. 相模原・町田大学地域コンソーシアムの活動に参画し、薬の正しい使い方の指導、薬に関する健康教育などの普及・啓発を行うため、公開講座を行い、一般市民に適切な薬物療法等が図られるよう啓発を次の通り行った。

期 日	名 称	場 所	講師名	対象者数
8月3日(日)	中学生のための初級薬学講座	相模原市総合保健医療センター7階視聴覚室	藤本加奈子	17名
3月1日(日)	薬・健康市民講座 薬局・薬剤師がすすめる健康の秘訣 ～生き活きと楽しく過ごすために～	相模女子大学 7号館 1階 711 教室	田村晃一郎	55名

③ その他この事業に必要な諸会議及び業務

1. お薬講座等の実施

自治体等の依頼に基づき薬剤師を派遣し、医薬品の正しい知識の普及等を市民等に対して行った。

期 日	内 容	場 所	講師名
5月16日(火)	「薬の正しい服用方法」について	松南自治会館	澤田 寛之
6月6日(金)	受動喫煙の害について	相模原市民会館	鈴木 孔子
7月2日(水)	事前質問からお薬のこと、食事のこと、その他について	manaby 相模原駅前事務所	神原 大輔
7月17日(木)	元気の秘訣は笑顔！	横山公民館	神原 大輔
10月1日(水)	薬剤師が教える自分自身で健康になる方法	東林公民館	澤田 寛之
12月3日(水)	そのサプリほんとに必要？あふれる情報を正しく選択して健康で元気に楽しい日々を過ごしましょう！！	光が丘公民館	波田野尚美
2月21日(土)	医薬品やサプリメントを安全に使用するために	国民生活センター	金子 峻

2. 会議

【公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム】7月10日(木)

【薬物乱用防止啓発に係る協働事業についての打ち合わせ会】7月18日(金)、8月19日(火)

【啓発・アンチドーピング委員会】5月12日(月)、6月20日(金)、7月18日(金)、9月8日(月)、10月9日(木)

【スポーツフェスティバル説明会】9月25日(木)

【健活！さがみはら健康フェスタ 2025 出展者説明会】9月12日(金)

【学校保健委員会】6月30日(月)、8月9日(土)、10月17日(金)、

【公衆衛生WG】5月20日(火)、8月5日(火)、9月10日(水)、11月14日(金)、12月1日(月)、3月2日(月)

2 児童・生徒に関する事業

(1) 学校環境衛生の整備に関する事業

- ① PTA、教師、児童生徒及び一般市民を対象とした薬物乱用防止啓発教室に次のとおり講師を派遣した。

期日	実施校	講師名	対象者数
7月1日(火)	相模原市立北相中学校	岡田裕司	27名
7月2日(水)	相模原市立藤野中学校	野崎喜代美	44名
11月11日(火)	神奈川県立上溝南高等学校	菅野宏一	374名
11月13日(木)	神奈川県立城山高等学校	鈴木孔子	282名
11月19日(水)	相模原市立旭中学校	馬渕彰三	270名
12月12日(金)	相模原市立青和学園	岡田裕司	34名
12月18日(木)	神奈川県立橋本高等学校	鷺山毅	829名
1月26日(月)	相模原市立串川中学校	鈴木孔子	33名
2月5日(木)	相模原市立津久井中央小学校	鮎田清子	24名
2月12日(木)	相模原市立川尻小学校	八木千彰	89名
2月19日(木)	相模原市立小山小学校	川南幸江	117名
2月25日(水)	相模原市立鶴野森中学校	小川護	178名
3月2日(月)	相模原市立上鶴間中学校	田中弘子	144名
3月2日(月)	相模原市立向陽小学校	神原大輔	161名
3月9日(月)	相模原市立相陽中学校	澤田寛之	278名

- ② 児童生徒を対象としたくすりの適正使用教育に次のとおり講師を派遣した。

期日	実施校	講師名	対象者数
7月1日(火)	相模原市立北相中学校	岡田裕司	27名
7月2日(水)	相模原市立藤野中学校	野崎喜代美	44名
11月11日(火)	神奈川県立上溝南高等学校	菅野宏一	374名
12月3日(水)	相模原市立相模台小学校	蟹澤彩	89名
12月12日(金)	相模原市立青和学園	岡田裕司	34名
12月18日(木)	神奈川県立橋本高等学校	鷺山毅	829名
1月15日(木)	相模原市立富士見小学校	佐藤義人	106名
1月26日(月)	相模原市立串川中学校	鈴木孔子	33名
2月5日(木)	相模原市立津久井中央小学校	鮎田清子	24名
2月12日(木)	相模原市立川尻小学校	八木千彰	89名
2月19日(木)	相模原市立小山小学校	川南幸江	117名
2月25日(水)	相模原市立鶴野森中学校	小川護	178名
3月2日(月)	相模原市立上鶴間中学校	田中弘子	144名
3月2日(月)	相模原市立向陽小学校	神原大輔	161名
3月9日(月)	相模原市立相陽中学校	澤田寛之	278名

収支決算書

公益社団法人相模原市薬剤師会

収入		支出			
科目	金額 (円)	科目		金額(円)	
会費	1,869,696	広報事業	印刷費	46,200	
			会議費	75,600	
			情報関係費	164,580	
補助金	1,786,000	災害時対策事業	会議費	76,000	
			役務費	210,715	
			事業費	147,710	
補助金	1,786,000	薬学生受け入れ対策事業及び体験学習受入事業	会議費	12,000	
			役務費	17,695	
			実習費	664,929	
補助金	1,786,000	相談事業	旅費	96,000	
			薬物乱用防止啓発事業	薬物乱用防止活動費	445,955
				くすりの適正使用教育費	807,987
補助金	1,786,000	薬物乱用防止啓発事業		会議費	41,000
			旅費	2,213	
			消耗品費	10,191	
補助金	1,786,000	薬物乱用防止啓発事業	印刷費	29,276	
			役務費	3,520	
			保険料	17,967	
補助金	1,786,000	薬物乱用防止啓発事業	賃借料	472,158	
			学校環境衛生の整備に関する事業	会議費	244,000
				講師謝礼金	70,000
合計	3,655,696			3,655,696	